

看護スタッフの皆様へ

看護研究のアンケート調査についてのご説明

看護研究のテーマ

「看護師のバーンアウトの現状と比較」

～当院看護師との比較調査から～

研究責任者 北海道医療センター 透析室 平野 洋子

作成日
2013年3月1日 計画書案 第1版作成

1. 研究の目的

透析室に勤務する看護師は、看護という職業、透析室という特徴、患者—看護師関係、医師や他職種との関係、仕事量や役割、年齢、性格傾向や身体状況、そして社会状況など、多くのストレスサーにかこまれながら「透析とともに生きる人」への看護を継続しています。更にバーンアウトは、ヒューマン・サービス職種とされる職場で起こりやすく、看護師はその中でも高い状況となっています。

バーンアウト尺度を用いた先行研究では、透析室で働く看護師がバーンアウトに陥っている確率が高いということが明らかになっています。そこで当院に勤務している看護師と透析室に勤務している看護師のバーンアウト尺度を用いた燃え尽き度の比較をし、その現状と要因を明らかにすることで、ストレスを抱えながら働いている職員が1人でないことを認識し、問題の共有化をはかりたいと考えました。

そのため、当院に在職している看護師にアンケート調査をさせていただきたく研究へのご理解とご協力をお願い致します。

2. 研究対象

(1) 対象患者

北海道医療センターに在職している看護職員全て

(2) 除外基準

当院の看護部長、副看護部長、看護師長
治験や地域連携等看護師1名のセクション
異動、採用になってから6カ月未満の看護

3. 方法

アンケートの収集方法

アンケート記入後、各部署に設置した回収袋に投函していただきます。

収集期間終了後の平成25年3月28日、研究担当者が各部署に回収に伺います。

4. 個人情報の取り扱いについて

アンケート用紙は無記名であるため個人の特定はされないものと考えます。また、本研究で知り得た情報は、本研究でのみ使用します。

自由意思のもとの参加であるため本研究への参加・不参加による不利益は生じません。

アンケートの回収をもちまして本研究の同意を得られたこととさせていただきます。